

道東太平洋沖の流速場（2019年12月 海況速報No.191 付記）

2019/12/19

中央水産試験場 海洋環境G、釧路水産試験場、函館水産試験場

釧路水産試験場所属試験調査船「北辰丸」による、流れの調査結果をお知らせします。（水温観測結果は「北辰丸」および、函館水産試験場所属「金星丸」の結果を使用しています。）

親潮：親潮とおぼしき流れ（O1：流速10～20cm/s程度（100m深））は根室の沖合にのみ、かすかに見えており、大部分は観測海域の東側で反転していると考えられます（図1、2）。

暖水（えりも以東）：えりも以東の大部分は暖水（100m深水温：7℃以上）に覆われています（図2）。暖水の周辺の流れは、東向きや西向きの流れが入り乱れており（W1,W2）、複雑な海況となっています。

津軽暖流：津軽海峡から暖水（100m深水温：12℃以上）が東向きに張り出しており、海峡東口に東南東向きの流れ（TW1）が見られることから、津軽暖流は渦モードだと考えられます。

今後の見通し：現在、親潮の勢力は著しく弱めです。12月は最も親潮の面積が縮小する時期なので、今後、親潮の面積が広がるとしても年明け以降になると考えられます。

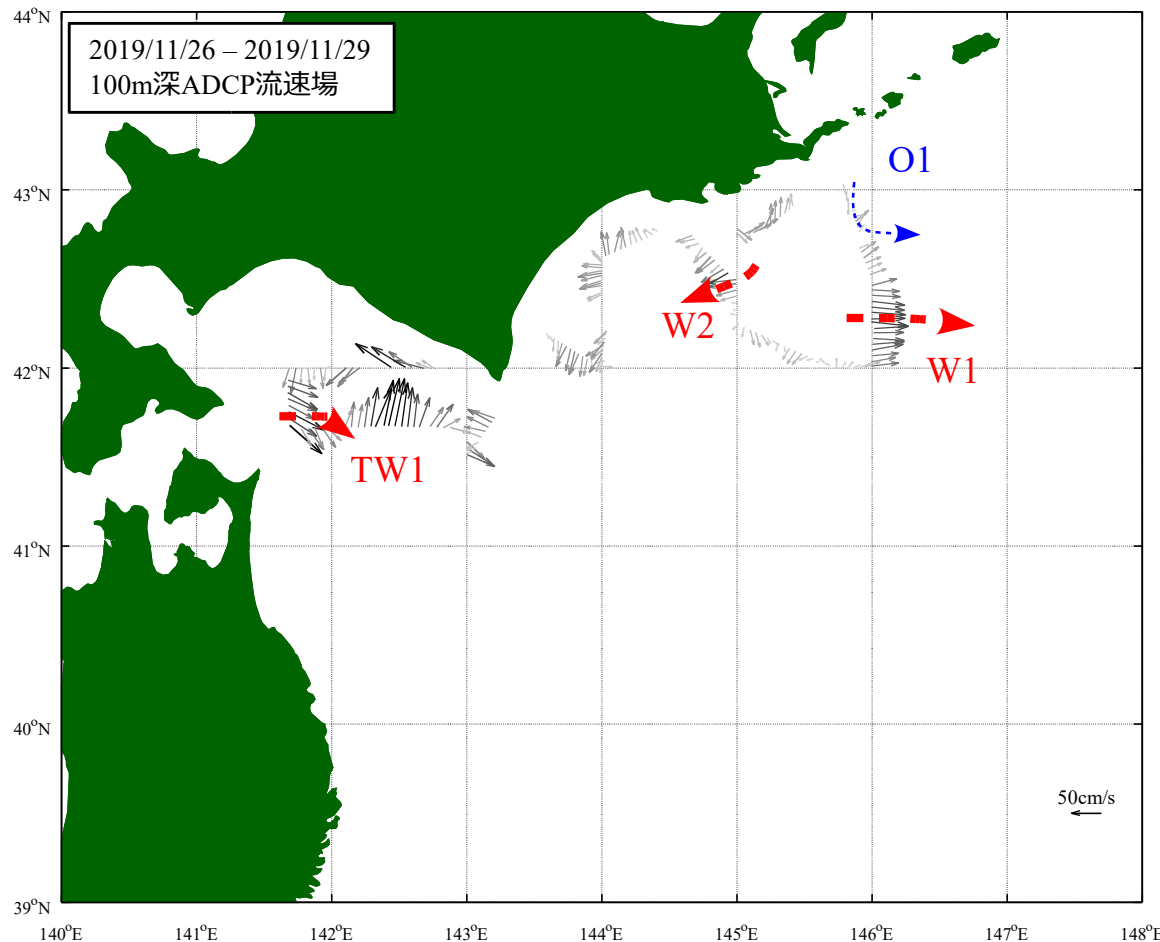


図1 ADCPによる100m深の流速場と模式図。実線矢印は向きでその場所の流向を、長さで色の濃淡が流速を表す。点線矢印は推定された親潮（青）、暖水（赤）の流れの模式図

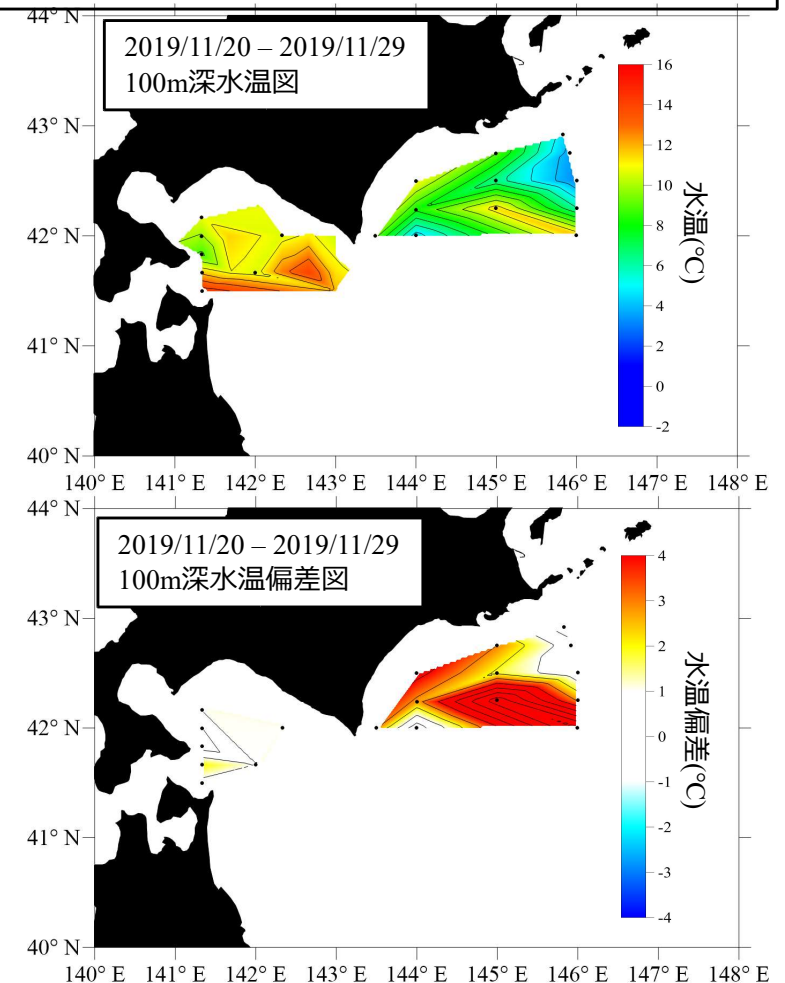


図2（上）100m深水温図
（下）100m深水温偏差図（1989～2018年平均からの差）